



長野県立大学 学務課長 金子 功さま

安全で快適な学生生活のために 学生証のICカード化は必須でした

導入の背景

建学理念を象徴するツールとして 多機能ICカードを導入

長野県立大学さまは、さまざまな価値観を持った人たちが交流できる「知の拠点」として、世界的視野で地域を考えられるオープンな大学を目指して2018年4月に開学しました。理事長は元ソニー株式会社代表取締役社長の安藤国威さま、学長は慶應義塾大学名誉教授でロシア語学者の金田一真澄さまです。

ソニー株式会社時代にパーソナルコンピューター “VAIO”の事業化などを主導した経歴を持つ安藤理事長の意向もあり、「学生一人ひとりがグローバルな視野を持ち、イノベーションの創出によって、新しい価値を生み出していく」という建学理念を象徴するアイテムのひとつとして、学生が常時携帯する学生証を多機能なICカードにすることは早くから決めていたそうです。



長野県立大学のWebサイト

公立大学法人 長野県立大学 さま

DATA

学校名：公立大学法人 長野県立大学

学部/定員：グローバルマネジメント学部/170名

健康発達学部 /70名 (2018年4月1日現在)

ICカード導入時期：2018年3月

担当部署：学務課

導入までの経緯と効果

大学が求める学生証の実現



完成した学生証

「KURURU」と「楽天Edy」、2つの電子マネーブランドを搭載しています

長野県立大学さまとトッパンフォームズが、学生証について具体的な検討を始めたのは開学の約半年前。長野県庁内の県立大学設立準備課が舞台となりました。

「理事長の意向に加えて、県内のバス会社さまや食堂の運営会社さまから電子マネー決済についてのご提案をいただき、学生証は日常生活において利便性の高いものにするを当初から決めていました。

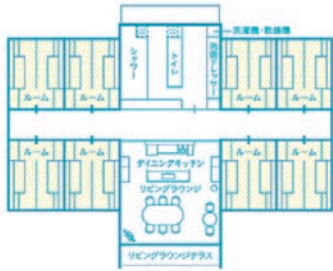
一方、学生証である以上、破損・紛失時の再発行には迅速に対応しなければならず、複雑な機能を持ちながら、運用は簡易とする高度なICカード設計をする必要がありました。さまざまな折衝を経て完成した学生証は、長野市周辺の複数社の路線バスが利用できる交通系電子マネー「KURURU」と「楽天Edy」が搭載されました。これは学生証としては非常に稀な例だと思います。今回、本学の求める学生証を実現できた企業は、この分野でさまざまな実績を積んだトッパンフォームズだけだと思います」(金子さま)

学生証は寮生活にも欠かせない存在

「また、長野県立大学の学生証がICカードであることの必然性のひとつとして、本学が1年次全寮制であるということ、加えて新1年生の約7割が女子であるという点が挙げられます。女子比率の高い寮生活においては安全がなによりも重要であり、精度の高いセキュリティが必要になります。本学の『象山寮』では、男女別、2名ずつで共有する『Room(ルーム)』、8ルーム16名でリビングラウンジなどを共有する『Unit(ユニット)』という共生の単位がありますが、学籍データと紐づけたICカード学生証と電気錠で、

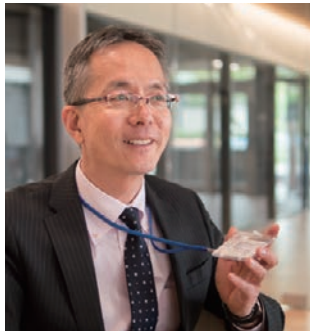


・象山寮のリビングラウンジ



・8つの『Room』で構成される『Unit』

学生一人ひとりの立ち入り可能な区域をコントロールしています。具体的には、全ユニットを『1年生・男子』『1年生・女子』『上級生』の3カテゴリーに分けて、カテゴリー内での往来は可能、異なるカテゴリー



のスペースへの立ち入りは不可、『Learning Hub(ラーニング・ハブ)』と呼ばれるコミュニティスペースは24時間、全ての寮生が使えるようになっています。これも『学生同士の学び合い、助け合い、切磋琢磨を通じて主体性や社会性、対人関係形成能力を養う』という教育理念に準じた施策ですが、寮生活に不安

を抱く学生はもちろんご両親に安心していただくためにも、ICカードによるセキュリティ管理は必須でした。楽天Edyについても、入学式後の保護者説明会で、学生食堂で使用できる旨を説明したところ、『食費として』さっそくチャージをしてあげているご両親もいらっしゃいました。こちらも学生生活の安心に貢献していると思います」(金子さま)



学生証を手にする新入生

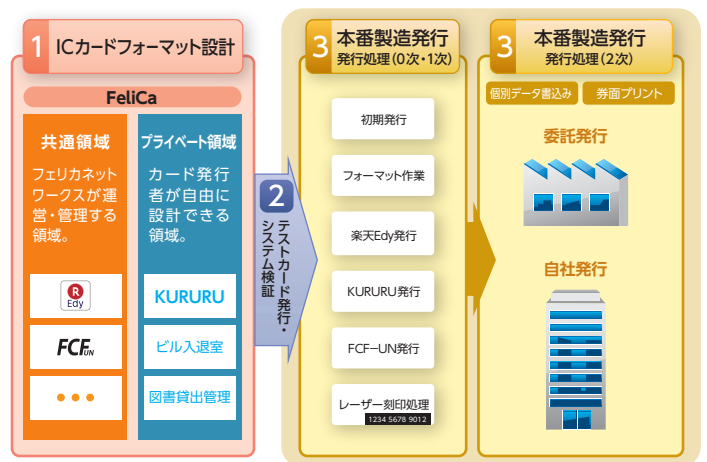
これからの展開について

学生、企業さま、大学 皆で磨きをかけていきたい

「開学の時点では、大学主導で制作した学生証ですが、今後は実際に使用した学生たちの声も反映させていければと考えています。この学生証はFCF*共通フォーマットに準拠しているの、複合機利用などの機能の追加が可能ですし、『KURURU』のチャージ方法や学生が寮を出た2年次以降の使い方など、学生が何を望んでいるか継続的にヒアリングをしていきたいと思っています。また、地域のバス会社さまは『KURURU』の学生証への搭載を喜んでくださっておりますので、協調しながらより望ましい形に近づけていきたいと思っています。このように地域を同じくする学生・企業さま・大学がひとつのソリューションを磨いていくことは地域共生として大変意義深いことだと感じています」(金子さま)

*FCFとは、FeliCaの特徴である「多機能性」を活用し、「マルチベンダー環境」を提供する、共通領域を使用した個人認証カード用の共通フォーマットです。

トッパンフォームズのICカードソリューション



長野県立大学さま

長野県立大学 (THE UNIVERSITY OF NAGANO) さまは「長野県の知の礎となり、未来を切り拓くリーダーを輩出し、世界の持続的発展を可能にする研究成果を発信し、もって人類のより良い未来を創造し、発展させる大学」を理念に2018年4月に開学した公立大学です。「リーダー輩出」「地域イノベーション」「グローバル発信」の3つを使命に、学生一人ひとりが広い大海に漕ぎ出し、大きな夢に挑戦できる学びを長野の地で実現しています。



トッパン・フォームズ株式会社

〒105-8311 東京都港区東新橋1-7-3
<http://www.toppan-f.co.jp/>
 ITイノベーション本部 カードユニット 販促部
 TEL. 03-6253-5732

※FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
 ※FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
 ※楽天Edyは、楽天Edy株式会社の商標または登録商標です。
 ※KURURUは、長野市公共交通活性化・再生協議会が管理する商標です。
 ※FCFはFeliCa共通利用フォーマット推進フォーラム組合の登録商標です。
 ※その他、記載された製品名、規格名等は各社の登録商標あるいは商標です。
 ※本カタログに記載の機能・内容などは予告なく変更になる場合がございます。